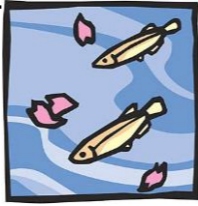


はじめの一步



新潟県立小出特別支援学校進路指導部
NO. 113 (令和6年3月21日)

高等部卒業生の進路決定までの道のり

進路指導主事 窪田 幸子

今年度の高等部3年生は3月22日に卒業式を迎えます。この3年間、「卒業したら社会人」を合言葉に学習を積み上げてきました。

具体的には・・・

- ・働くために必要な力を身に付ける（挨拶、身だしなみ、報告・相談、時間を守るなど）
- ・仕事・職場を知る（現場実習、校外学習を通して）
- ・様々なことにチャレンジし、自分を知る（得意なこと、苦手なこと、頑張ればできること、支援がないとできないことなど）



- ・進路の方向性を定め、決意と覚悟をもって取り組む（高等部3年生）

- ・自分の決めた進路先に合格するんだという決意
- ・目標を達成するために、やるべきことを最後までやり抜く覚悟

～それぞれの生徒に応じた進路決定に向けた取組の例～

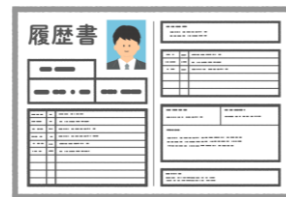


グループホームを生活の場所とする生徒は、実習期間以外にも定期的にグループホームから日中活動先へ通う練習をしてきました。



魚沼市の入所施設への入所は難しく、市外へ見学・体験に行きました。

人との関わりが苦手であるという自分の課題を克服するために、希望する進路以外に実習に行き、笑顔で大きな声で接客する練習をしました。



企業就労を希望する生徒は、冬休みの宿題として履歴書を作成しました。また、3学期は何度も面接練習を行いました。



進路決定の際には、生徒本人に「なぜここで働きたいのか」、「本当にこの進路でよいのか」確認をしてきました。すぐにうなずくことができなかつた生徒も、実習を繰り返し自分で納得し、決意を固めてきました。決定に至るまで、保護者の皆様からは、温かく見守り支えていただきましたこと、大変感謝申し上げます。4月から新しい環境での生活がスタートします。不安なこと、心配なことがたくさんあると思いますが、小出特別支援学校で積み上げてきた力を信じ、目の前のことに向き合い、更に成長していくことを願っています。

～令和5年度高等部3年生の進路～



企業就労			福祉サービス利用					その他	計(名)
製造	医療	公務	就労移行	就労継続B型	生活介護	施設入所	共同生活援助		
1	1	2	1	2	5	2	1	1	16

支援機関との連携

～高等部1年生進路面談～

2月13日(火)～2月22日(木)、個別懇談が行われました。

高等部1年生では、本人、保護者様、担任、進路指導主事に加えて、居住地域の相談支援員様に参加していただき、進路面談を行いました。この進路面談は、卒業後の生活に向けて、早いうちから地域の方に本人のことを知ってもらう機会になっています。生徒の実態や進路希望、学校・家庭での様子、福祉ニーズ、地域の情報、困っていること等が話題になります。ちなみに、高等部2年生は2学期、高等部3年生は1学期に進路面談を行っています。

～移行支援会議～

高等部3年生の卒業後の進路が決まった生徒に対して、移行支援会議を行います。例年、2月下旬から3月下旬にかけて行っています。

移行支援会議とは・・・

目的	学校から卒業後の生活への移行をスムーズにするため	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の本人・保護者の願いを実現するための情報交換 ・支援内容の確認 ・準備しておくこと、4月からの利用や勤務についての確認 など 	
参加者	福祉サービス利用	本人、保護者、福祉サービス事業所、相談支援員、学校職員(担任、進路)
	企業就労	本人、保護者、企業、障がい者就業・生活支援センター、学校職員(担任、進路)

※移行支援会議では、個別の移行支援計画を提示しながら説明を行います。個別の移行支援計画は、個別の教育支援計画をベースに学級担任と保護者で作成します。

高等部前期現場実習希望調査

令和6年度前期現場実習に向けて、高等部1、2年生を対象に現場実習希望調査を実施しました。これをもとに、進路担当と学級担任で実習先について検討し、本人・保護者様に提案していきます。

2年生の実習では、通勤に関することや自分の得意なことや苦手なことを見極め、進路選択につなげていきます。

3年生は自分の希望する進路先で実習を行い、事業所様から卒業後ここで働けるのか、ここで過ごせるのか見極めてもらう実習となります。



1年間ありがとうございました

今年度も、進路教室やPTA進路研修に御参加いただきありがとうございました。また、日々の進路指導に対し、御理解・御協力いただき大変感謝しております。

先日、進路指導部で今年度の振り返りを行いました。その中で、児童生徒は“なるべく早いうちから様々な経験を積んでいくことが大事”だと話題になりました。現場実習に行くと、やったことのないことを求められることが多々あります。私たち学校職員の反省ですが、実習が近づくとあわててできない課題に取り組むことがあります。また、実習先で新しいことに挑戦させていただき「こんなこともできたのか」と驚かされることがあります。最初から「これは難しい」と決めつけ、支援ありきになってしまい、児童生徒もその状況に慣れてしまっている場合があるかもしれません。今一度、児童生徒に対する関わりを見直していきたいです。御家庭ではいかがでしょうか。

進路指導というと、学校生活の出口である高等部が中心であると思うかもしれませんが、進路希望を実現するためには高等部の3年間では間に合いません。また、学校だけで指導できるものでもありません。御家庭と協力しながら、児童生徒の発達段階に応じた力を積み上げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



当校のホームページを是非、御覧ください。 URL <http://www.koide-tk.nein.ed.jp/>

お問合せ等がございましたら、進路指導部まで御連絡ください。

新潟県立小出特別支援学校 進路指導部 TEL 025-792-5412